

会社概要

会社名

 **株式会社 ササクラ**
SASAKURA ENGINEERING CO.,LTD.

<https://www.sasakura.co.jp/>



創立

1949年(昭和24年)2月22日

ISO認証取得

ISO 9001 品質マネジメントシステム

ISO 14001 環境マネジメントシステム

事業所



本社



東京支社



ササクラテクノプラザ



竹島工場



歌島工場



小野田工場

【関係会社】

株式会社 笹倉サービスセンター

株式会社 ササクラ・エーイー

PT. SASAKURA INDONESIA(インドネシア法人)

SASAKURA MIDDLE EAST COMPANY(サウジアラビア法人)

台湾篠倉貿易股份有限公司(台湾法人)

上海ササクラ環境科技有限公司(中国法人)

【関連団体】

一般財団法人 ササクラ環境科学財団



社章は、ササクラが長年テーマとして取り組んできた地球環境保護を意図した「水と緑の地球」をマークとし、その中心に「SASAKURA」の頭文字の「S」をあしらひ、水と緑の地球を人の形で造形することにより、人と地球の関わりを意味し、その地球の回転でもって永遠の拡がりイメージし、人々の和が会社を、そして地球を美しく育み、社会から信頼される企業としての発展を願い、心からの祈りを込めて制定したものです。

SASAKURA

COMPANY PROFILE

会社案内





当社は1949年(昭和24年)創立以来、企業を通じて社会に貢献することを企業理念として、堅実に歩んでまいりました。

創立以来の旺盛なエンジニアリング志向と、果敢なパイオニア・スピリットを擁して技術開発型企業に徹し、船舶用機器・海水淡化化プラント・蒸発濃縮装置・空冷式熱交換器・環境保全機器などグローバルな視点より研究開発を推進し、それぞれの分野で第一人者としての評価を受けるに至りました。

私たちは、長年の経験によって蓄積した設計、製作、建設、品質管理の膨大な技術ノウハウを基礎に一層の技術革新に努め、時代の要請に対応する新製品・新技術開発を目指しています。

現在、私たちは地球の自然環境を保ちつつ、限りある資源をいかに有効利用するかという、大きな課題を担っています。

私たちは「水を造り、熱を活かし、音を究め、よりよい環境をつくるサクラ」をテーマに、独創的な研究開発・人材の育成を図り、高度な技術力で豊かな地球環境創造に貢献してまいります。



代表取締役社長
笹倉 慎太郎

水を造り
熱を活かし
音を究め
よりよい環境をつくる



SASAKURA STORY

船舶用造水装置

当社は、船舶用造水装置・熱交換器等の船舶用機器専門メーカーとしてスタートしました。船舶用造水装置は、航海中の船の水需要を充たす最も重要な機器の一つで、造り出された清水は飲料水からボイラー給水、雑用水にまで多目的に使用されています。特に、省エネ型の造水装置が昨今の船舶環境の改善に寄与しています。日本で建造される船はもとより、海外へも輸出される当社の造水装置は、数多くの船舶に搭載され、その技術水準は世界のトップクラスとして評価をいただいております。



プレート式造水装置



チューブラー式造水装置



低圧浸管型造水装置

陸上用海水淡水化プラント

船舶で培った技術を陸上用大型装置に展開し、水資源の乏しい地域の発展に寄与する大型海水淡水化プラントを開発し、中東を初めとする世界各国に納入しています。現在では業界屈指の技術と実績を有するリーディングメーカーの地位を確立し、「海水淡水化のササクラ」として絶大な信頼をいただいております。

世界最大容量・最高効率 大型プラント“Shoiba Phase-2”

2019年1月、サウジアラビア海水淡水化公団向けに世界最大容量・最高効率のレヒート型海水淡水化プラント(日産91,200トン×1基)を納めました。



レヒート型海水淡水化プラント

プラントのリハビリ工事

20年以上使用した装置の補修を行い、プラントの寿命をさらに15年以上延ばします。



多段フラッシュ型海水淡水化プラント



逆浸透式海水淡水化プラント

蒸発濃縮装置

当社は、いち早く環境問題にも取り組んできました。海水淡水化技術を応用し開発した蒸発濃縮装置は、工場の排水・廃液からの水回収・有価物回収・減容化を行い、廃棄物処理のコスト削減を図りながら、環境保全に大きく貢献しています。さらに、食品分野にも技術を発展させ、食品・飲料の生産プロセスにおいても蒸発濃縮装置をご採用いただいております。



VVCC蒸発濃縮装置



RHC蒸発濃縮装置



RVCC蒸発濃縮装置



食品用蒸発濃縮装置

2019年度 省エネ大賞 「資源エネルギー庁長官賞」受賞

2019年度 省エネ大賞の省エネ事例部門において「資源エネルギー庁長官賞」を三洋化成工業(株)、当社、(一社)日本エレクトロヒートセンターの3社で受賞しました。熱のリサイクルを排液の濃縮工程に応用することで、大幅な省エネを実現したことが評価されました。



VVCC蒸発濃縮装置(MVR型蒸発濃縮装置)

海洋汚染防止機器

海洋環境保護には国際海事機関(IMO)で定められた国際基準をクリアする油水分離器や、汚水処理装置などが活躍しています。



油水分離器



汚水処理装置

空冷式熱交換器

当社の空冷式熱交換器は、わが国の石油精製、石油化学プラントの発展と共に、その冷却分野で活躍してきました。無尽蔵にある空気を有効活用した環境にやさしく、経済性の高い熱交換器です。
また、都市ごみ焼却プラントやバイオマス発電プラントにもその用途を拡大し、リーディングメーカーとして業界の発展に貢献し続けています。



都市ごみ焼却プラントに設置された空冷式熱交換器



石油精製、石油化学プラントに設置された空冷式熱交換器



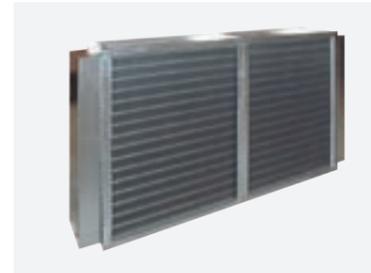
空冷式熱交換器用フィンチューブ

ヒートパイプ式冷却ロール



ラミネート加工や液晶、太陽電池等の光学系フィルム製造などにおける、製品品質の向上と高速化を実現した画期的な製品です。

ヒートパイプ熱回収ユニット



各種プロセスの排気から、暖めた空気を無駄にしないために開発した製品で、排気熱を回収・再利用することで高い省エネ効果を実現します。空調設備などで活躍しています。

超低温バタフライ弁

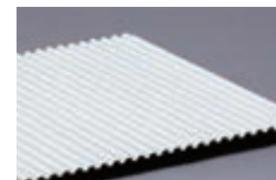


宇宙開発ロケットの液体燃料系や液体水素系のバルブにも使用される当社の超低温バタフライ弁は、LNGなどの超低温液体の移送には欠かせません。LNG基地やLNG船に搭載されています。

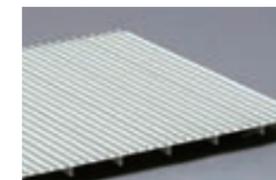
放射空調システム

天井面に設置した放射パネルを冷却・加熱し、空気を介さず直接人体との熱交換により冷暖房を行う為、快適かつ省エネで、人と地球環境にやさしい空調システムです。オフィスビルや病院、学校などに、採用されています。

放射パネル ラインナップ



波型



リブ型



パンチング型



ルーバー型



天井放射冷暖房パネル能力試験室 RE SARCH LABO



食品会社 事務室 導入例

快適な環境づくりに、騒音問題を切り離して考えることはできません。

当社は、1971年以来、数々の騒音防止システムを開発・製作してきました。一般産業・建築分野をはじめ、船舶や航空機・宇宙関連分野、地下空間利用施設などのあらゆる分野の騒音を制御し、快適な音環境をサポートしています。

建設関連屋外機 騒音対策



大阪府内某施設 屋外機騒音対策



変電所 屋外機騒音対策



東京都内某施設 屋外機騒音対策



データセンター 屋外機騒音対策



船舶・航空機・宇宙関連 騒音対策



ハッシュハウス 騒音対策



船舶用騒音対策 排ガス用消音器
リニアサイレンサー (性能試験の様子)

地下空間利用施設 騒音対策



地下鉄 換気騒音対策



プラント・工場 騒音対策



名古屋市猪子石工場様 蒸気復水器吸気騒音対策



清掃工場 蒸気復水器吸気騒音対策



ガスエンジンエンクロージャー騒音対策

空調・換気 騒音対策



コンサートホール



空調換気騒音対策

騒音試験を行う研究施設



研究所 エコPET吸音楔
エコPET無響室

水・熱の総合研究開発施設 サクラ テクノプラザ

サクラ テクノプラザのコンセプト

お客様のニーズを実現する
共同研究開発の
場所

サクラの
新製品や新技術の
検証の場所

サクラ技術の
ショールーム

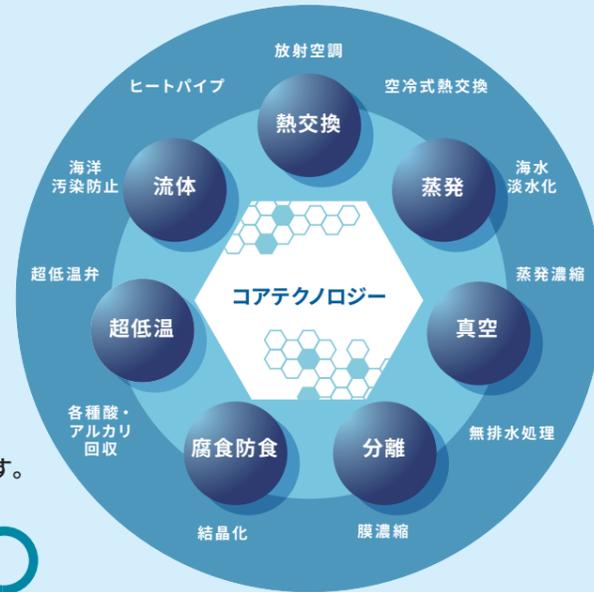


サクラ テクノプラザ

サクラ テクノプラザは、当社の水・熱の製品、技術に関する総合研究開発施設です。

研究から設計、営業、製造などあらゆるスタッフがタッグを組み、お客様と密接に連携をとりながらプロジェクトを進め、お客様のニーズに速やかに対応できるよう日々研究開発を進めています。

また、お客様のデータやノウハウと、当社のコアテクノロジーを融合させることで、新たな技術やシステムを生み出し、多種多様な問題をお客様と共に、解決していきます。

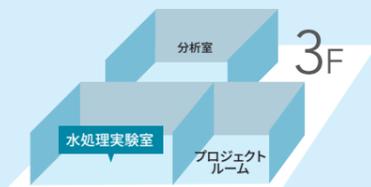


お客様と共に、これからも **無限の可能性** に挑戦します。



多目的研修室

当社の放射空調を導入した研修室です。静かで快適な空間をご体感いただけます。



水処理実験室

サンプル液のラボスケール実験を行う蒸発濃縮技術の基礎研究実験室です。



試運転場

製品の性能試験や、新製品開発のための運転試験を行います。また、廃液処理システムを導入し、実験室から出る廃液を処理しています。



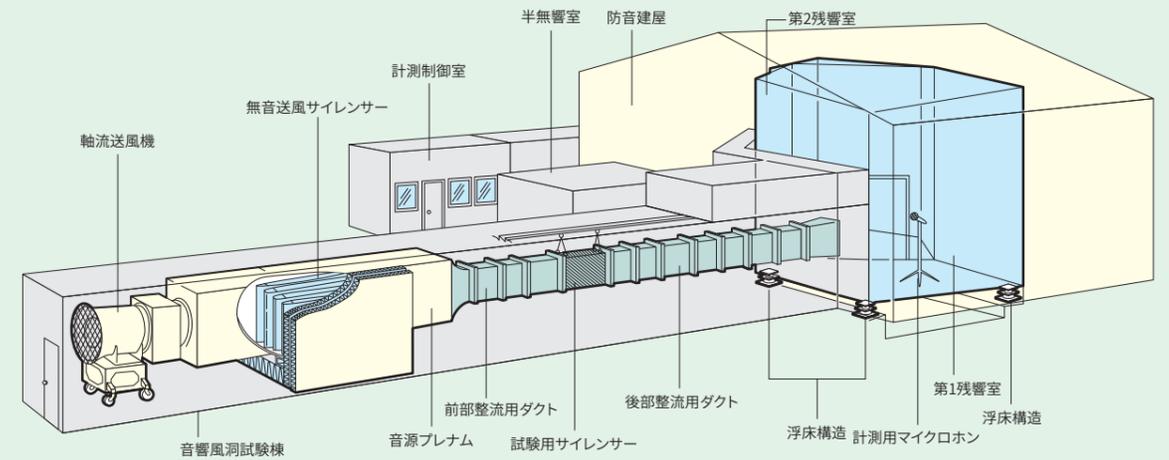
音の研究開発施設 音響ラボラトリー



1987年、サクラが独自に開発した研究開発施設です。世界的な評価を得ているサクラの高性能騒音防止システムは、国内でも数少ない本格的な音響風洞実験棟と2つの残響室を備えたこの音響ラボラトリーでの試験データに基づき設計されており、極めて信頼性の高いものです。

◆ 音響ラボラトリーで可能な試験

1. あらゆる騒音防止システムの音響特性と気流特性の試験 (動的音響挿入損失、圧力損失など)
2. 各種材料、パネルの吸音性能、遮音性能などの音響特性の試験 (残響室法吸音率、音響透過損失など)
3. 試験体の発生騒音の音響パワーレベルの計測



軸流送風機



音響風洞



半無響室



無音送風用サイレンサー



第1残響室